

令和3年度緊急無償資金協力 コールド・チェーン整備に係る機材の調達等による ナイジェリアのワクチン接種体制支援

令和3年4月27日

令和3年4月27日、日本政府は、ナイジェリア連邦政府の新型コロナウイルスワクチン接種体制を支援するために、約2.75億円（約2.5百万ドル）の緊急無償資金協力を実施することを決定しました。

この無償資金協力の下、「ラスト・ワン・マイル支援」として、新型コロナウイルスワクチンをナイジェリア国内に円滑に運び届けるために、コールド・チェーンに係る機材の調達、コールド・チェーンに係る機材設置のためのロジスティクス支援及びコールド・チェーンに係る機材管理のための組織の能力強化支援等が実施される予定です。なお、本案件は国際連合児童基金（UNICEF）との協力の下で実施されます。

日本政府は、UNOPSやUNDP等の国際機関と協力して、新型コロナウイルスによる健康に関する危機の影響を受けている、ナイジェリアの保健・医療分野の改善のために、地域の酸素供給量の増加及びワクチン保管能力の向上を目的とした支援や個人用防護具（personal protective equipment：PPE）の調達支援等を行っています。

日本政府は、本プロジェクトが新型コロナウイルスの影響からナイジェリアの人々を守ることを期待しています。また、日本政府は、ナイジェリアの保健・医療セクターの強化のために、これからもナイジェリアの人々と協力していきます。

本件に関する外務省ホームページ掲載の報道発表

https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press6_000803.html

実施パートナー	国際連合児童基金（UNICEF）
供与額	2,500,001米ドル（約2.75億円）
案件概要	<ul style="list-style-type: none">・コールド・チェーンに係る機材の調達・コールド・チェーンに係る機材設置のためのロジスティクス支援・コールド・チェーンに係る機材管理のための組織の能力強化支援